

本リリースは、黒田電気株式会社と TIS 株式会社の共同リリースです。2 社から重複して配信されることがありますがご了承ください。

2011 年 4 月 28 日

報道関係各位

黒田電気株式会社  
TIS 株式会社

**黒田電気、基幹システムを刷新し、  
2013 年にはグローバルな情報基盤を構築  
ーグローバル事業の展開とグループ経営強化により企業体質の一層の強化を図るー**

黒田電気株式会社(本社:東京都港区、代表執行役社長:金子孝、以下 黒田電気)は、グローバル事業の展開およびグループ経営の強化を目的に、新たな基幹システムを導入することを決定しました。黒田電気は、この新システム構築のために今後 3 年間で、総額約 26 億円を投資します。

新基幹システム導入プロジェクトは、2010 年 11 月に開始しており、2013 年 4 月には第 1 期システムが稼働、以後は順次グローバルベースでの情報基盤の統一を進めていきます。

今回の基幹システム刷新では、システムインテグレータの TIS 株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:桑野 徹、以下 TIS)がシステム構築を支援します。

新システムには SAP 社の基幹業務ソフトウェアの「SAP® ERP 6.0」と統合 BI ソフトウェアの「SAP® BusinessObjects™」を採用し、海外事業を含めグローバル化に対応したグループ経営管理を実現するシステムの構築を目指します。

#### ■新基幹システム導入の背景

昨今、中国やインドを始めとする新興国の需要拡大に支えられ、黒田電気の主たる顧客である日系エレクトロニクスメーカー各社においても、海外への積極的な展開が活発化しています。

黒田電気は、国内 34 拠点に加え海外 11 カ国 24 拠点に事業展開しており、販売先・仕入先双方の海外展開に迅速に対応するため、今後さらなる海外への事業展開とグループ経営の強化を図ろうとしています。

このようなグローバル展開を積極的に進めつつ、顧客に対するサービスの向上を図るためには、国内のみならず海外関連会社も含めたグローバルな情報基盤の構築が必要不可欠となっており、さらにグループ企業間のシナジー効果を高め、売上高の拡大と収益性の向上を図ると共に、グループ全体としての経営管理機能を強化することを目的に、今般、黒田電気は新基幹システムの導入を決定しました。

#### ■新基幹システム導入の目的

新基幹システム導入の目的は、以下の諸点です。黒田電気と TIS はこれらの目的を実現するためシステム要件を検討し、最適なシステムの構築を目指します。

- ・ 海外関連会社も含めグローバルなグループ内一元管理を実現すること
- ・ 戦略的なグループ経営が実現できるマネジメントコックピットを構築すること
- ・ グローバルな視点でグループ内業務をより効率化すること
- ・ IFRS(国際会計基準)に対応したシステムを構築し、グローバルスタンダードに対応すると共に、各種ステークホルダーに対する信頼性を向上させること

#### ■SAP 製品と TIS の構築支援を選択

黒田電気は以下の理由から、新基幹システムのパッケージとして「SAP® ERP 6.0」及び「SAP® BusinessObjects™」の採用を決定しました。

- ・ 統合パッケージの特色である一気通貫性により、新システム導入目的の一つである在庫・売掛金・買掛金管理や原価分析等に適切に対応できること
- ・ SAP 社パッケージが ERP 市場においてシェアが高く、信頼性が高いこと。また流通業界においても多くの導入実績があること
- ・ 多言語・多通貨対応機能に優れており、グローバルな経理・財務管理が実現できること

また、黒田電気は、TIS が SAP ERP パッケージと「SAP® BusinessObjects™」製品の数多くの導入実績と方法論を持ち豊富な業務知識を有していること、及びこれまでもグローバル展開企業へのシステム構築サポートの実績を数多く有していることを評価し、新基幹システム構築に TIS と共同で取り組むことを決めました。

## ■新基幹システムで期待される効果

2013 年より稼働予定の新基幹システムでは、以下のような効果が期待されています。黒田電気は、新基幹システムの導入により、グローバル対応を迅速に実現すると共に、次期中期経営計画の目標達成に貢献できると考えています。

- ・ 海外関連会社も含めグローバルなグループ内一元管理を実現  
多言語・多通貨対応に加え、各国特有の要件(法規制・商習慣)に対応したシステムを構築し、十年先を見据えたグループ内共通の情報基盤の実現を目指します。また、グローバルな事業展開に対応した受発注・出荷業務機能を追加し、物流力の更なる強化を実現します。
- ・ マネジメントコックピットの構築により戦略的なグループ経営を実現  
グループ全体の業績データを迅速に分析可能なシステムを構築し、管理会計機能の充実や情報の視覚化等の手法により、経営意思決定の更なるスピードアップを実現します。また、現場レベルでは、在庫等の物流ステータスの見える化により、効率的な在庫管理や売掛金・買掛金管理の強化が可能となります。
- ・ グループ内業務の効率化を実現  
新システム導入後は、現在多大な業務量となっている各種伝票の入力業務の短縮やマニュアル処理の自動化、各種データとの自動連携等が可能となり、グループ内全般にわたり業務の効率化が実現されます。更に物流コストや在庫の削減等の費用削減も期待できます。これらの施策を積極的に推進することによりグループ全体としてより収益性の高い企業体質を実現します。
- ・ IFRS(国際会計基準)に対応したシステム構築を実現  
IFRS に早期に対応することで、グローバルスタンダードを実現し、ますますグローバル化するステークホルダーからの要望に応じると共に、今後予想される法制度改正時の影響範囲を最小限に抑えます。

## ■今後の予定

黒田電気は、TIS と共に、2010 年 11 月に新基幹システム構築プロジェクトを開始し、2013 年 4 月には黒田電気を含む国内グループ会社での新システム稼働を予定しています。また、2013 年度中には海外グループ会社にも順次展開を予定しています。グループ展開に当たっては、黒田電気の新基幹システムをグローバル標準モデルとし、国内グループ会社並びに、各国の要件をシステムに追加した上で、海外グループ会社に順次展開する方針です。

2013 年度中に黒田電気グループ全体のグローバルな情報基盤を構築し、グループ企業間のシナジー効果を高めることで、売上高の拡大と収益性の向上を推進し、次期中期経営計画の経営指標の達成を目指します。

また、TIS では、これまで培ってきた基幹システム構築とグローバル展開への IT サポートのノウハウと経験を活かして、黒田電気の新基幹システム構築からその後の運用保守サポートまでをワンストップで支援していきます。

## 黒田電気株式会社について

黒田電気は、1945年の創業以来、電気材料、一般電子部品、半導体、並びに機械装置を扱う独立系の商社として活躍してきました。「お客様が必要としているサービスを間断なく、適時・的確に提供することによって、世界の産業界の発展に寄与するとともに、社会に貢献する企業、信頼される企業を目指す」を、事業方針とし、一貫した顧客密着型のビジネスを展開しています。更にグローバルに戦略的投資を実行し事業領域の拡大を図っており、ユニークで特長ある製造子会社を国内外に持ち、カーエレクトロニクス、フラットパネルディスプレイ、情報通信モバイル、家電関連といった業界を中心にグローバル展開を進めております。そして国内 34 拠点、海外 11 カ国 24 拠点をシームレスな連携でサポートできる体制を構築しています。

## TIS 株式会社について

ITホールディングスグループの TIS 株式会社、ソラン株式会社、株式会社ユーフィットは 2011 年 4 月に合併し、新生「TIS株式会社」としてスタートしました。新生TISでは、3社の総合力を活かし多種多様な業種・業態のニーズに幅広くお応えするソリューションを提供していきます。また、お客様へのサービスはSI受託開発からアウトソーシングサービス、クラウドサービスなど多彩な形態でご提供可能です。さらに、データセンターは、合併によって総面積、およびファシリティ・サービスの面で国内トップクラスの規模と品質となりました。

## 報道関係お問い合わせ先

黒田電気株式会社

〒108-8220 東京都港区港南 2 丁目 16 番 2 号 太陽生命品川ビル 21 階

黒田電気株式会社 経営企画室

IR 担当 持丸

TEL:03-6716-0850 E-mail: mmochimaru@kuroda-electric.co.jp

<※5月6日より本社移転のため、

黒田電気株式会社の住所および経営企画室の電話番号は以下に変更となります

〒140-0013 東京都品川区南大井 5 丁目 17 番 9 号/TEL:03-5764-5518>

TIS 株式会社

〒105-8624 東京都港区海岸 1 丁目 14 番 5 号 TIS 竹芝ビル

TIS 株式会社 企画本部 広報部

広報担当 浄土寺

TEL:03-5402-2133 E-mail: info@tis.co.jp